

四国に上陸し北上した台風21号と北海道を襲った最大震度7の大地震。観察会直前の1週間に2つの大災害が続きました。そんな中、この日も停滞する秋雨前線の影響で天気予報は雨模様。それでも歩き始める頃にはほぼ雨は上がり、途中ぱらつく時間帯もありましたが、幸い最後まで傘をささずに済みました。

里山の家での持ち込み観察項目：ムシャクロツバメシジミ（外来種）、オオシロカラカサタケ（外来種）、ハゴロモ（外来種）、草トランプ、セミの標本箱

里山の家で外来種のキノコの紹介があり、近くで観察できるとのことで最初に見に行くことにしました。歩道の植え込みの中にその**オオシロカラカサタケ**がたくさん生えていました。最大のものは傘の直径が20センチほどでした。近くのヤブガラシでは**コスズメ**と**セスジスズメ**の幼虫が見つかり、そのうちセスジスズメはハチに寄生されて、繭を背負っていました。幼虫は生きていましたが、少し動きが鈍いようでした。



オオシロカラカサタケ



コスズメの幼虫



寄生されたセスジスズメの幼虫

7月の観察会で葉を観察した**ヤマナラシ**の枝が台風のせい大きく折れていました。**オオモンシロナガカメムシ**、**キマダラカメムシ**が続いて見つかりました。後者は外来種で今年の観察会で何度も出会っています。



折れた
ヤマナラシ



オオモンシロナガカメムシ



キマダラカメムシ

キノコにはまっているという参加者が、キノコの同定には傘の裏側の形状を見ることが大切なことを教えてくれました。傘の裏側を観察すると、**ひだ状**になっているものと、**スポンジ状**になっているものがありました。後者は**イグチダケ**の仲間とのことでした。また、猛毒をもつ**テングタケ**も見つけることができました。



ひだ状のキノコの傘の裏側



スポンジ状のキノコの傘の裏側



テングタケ

キノコを食べ物にする生きものにも出会いました。イグチダケの仲間の傘を割くと、**ショウジョウバエ**の幼虫が見つかりました。すぐに中にもぐって見えなくなりました。光を避けているのでは、という意見が出ました。別のキノコには**イセノナミマイマイ**が来ていて、傘の部分を食べようでした。**センチコガネ**が潜り込んでいるキノコもありました。センチコガネは糞虫として知られていますが、キノコも食べるようです。



ショウジョウバエの幼虫



キノコを食べるイセノナミマイマイ



センチコガネ

「クワガタがいる！」との声が上がリ、コナラの木をみんなで取り囲みました。樹液に来ていたのはつがいのノコギリクワガタでした。メス、オスともに大きな個体で、子どもたちは大感激でした。そのコナラの樹皮は大きく削り込まれていました。人の手によって樹液が出るための加工がなされているようにも見えました。



クワガタがいる！



ノコギリクワガタ



樹皮が削られたコナラ

子どもがカナヘビを捉えました。そして今月もまた若い参加者がコクワガタを探ってきました。最初はメスのように見えたが、よく見るとアゴの小さなオスでした。近くの足元にオケラがつぼみをつけていました。昆虫にも同じ名前ものがありますよ、と教えられたので、すぐに覚えることができました。



カナヘビ



コクワガタ



オケラのつぼみ

アセビの花もまだつぼみでした。葉をもんで匂いを嗅いでみましたが、特に匂いませんでした。マテバシイの木を観察しているとカネタタキが飛び降りてきました。カネタタキは樹上で暮らすので、夜になると頭の上の方から鳴き声が聞こえてきます。マテバシイにはほとんどドングリがついていませんでした。



アセビのつぼみ



カネタタキ



マテバシイ

カマキリの大好きな高校生が、オオカマキリを捕まえて見せてくれました。サルトリイバラの葉の上ではアオマツムシのオスがじっとしていました。里山の家に戻ると、子どもがケースに入れて持ち帰ったオオカマキリのつがいが交尾していました。写真を撮るためケースを動かしても全く動じる様子はありませんでした。今月は特に昆虫好きの子どもがたくさん参加して、にぎやかな観察会となりました。虫との出会いを楽しむ一方で、雨上がりのためか至るところでさまざまなキノコを発見し、その種類の多さにみんな驚いていました。



オオカマキリ



アオマツムシ



交尾中のオオカマキリ

平和公園での観察項目：オオシロカラカサタケ、ヤスデ、ヤブガラシ、セスジスズメの幼虫、コスズメの幼虫、オオチャバネセセリの幼虫、寄生されたセスジスズメの幼虫、エビイロカメムシ、イセノナミマイマイ、折れたヤマナラシ、オオモンシロナガカメムシ、セスジツムシ、コイチャコガネ、キノコ、キノコを食べるイセノナミマイマイ、ハラビロカマキリ、イチモンジカメノコハムシ、キノコの中のショウジョウバエの幼虫、テングタケ、チツゼミの抜け殻、オンブバッタ、テングタケ、敷石の下の地盤、ハラオカメコオロギ、ミツバアケビ、ノコギリクワガタ、カナヘビ、キノコの菌糸、コクワガタ、センチコガネ、オケラ（植物）、アセビのつぼみ、ネジキの実、マテバシイ、カネタタキ、スズメバチ、ルリタテハ、コムラサキ、ハギ、ヌマガエル、シオカラトンボ、アオマツムシ、カラタチ、オジロアシフトゾウムシ